

媚 劍◎ 遺 洋 克 切 埠

こんじきのこうべをさげて米実る

なす山が南湖こうつりかがみかな

卷之三

風鏡のきれいな音色でひくべ

大勢のかん声ひびく馬の市

雨上がりふたつのにじが笑つてゐる

熱帯夜みんなどひつしよこ星を見る

卷之三

卷之三

螢かり七の光が空に行く

冬休み雪かきをしてあせをかく

白河の歴史をつなぐ夏祭り

ひまわりこわたしの身長一きれいとは

卷之三

卷之三

ほりこが一ねこも大きはくも大き

夏休み日記に書いたたから物

もつとふれでつかく作る雪だるま

うりぼうのうちなかのもはうかつゝ

卷之三

卷之三

夏休みはぐねーハトル父とサエア

初雪の白いじゅうたんダイブする

夏の朝きみの背中でせみがなく

風冷が私の心もひやしてゐる

卷之三

卷之三

木の下でかすかに咲いてるランの花

ほんおどりたいこ鳴らせばむねおどる

白河第一小)	石岡	詩野
白河第一小)	酒井	咲希
白河第三小)	佐藤	莉亞
白河第三小)	赤塚	功太郎
白河第三小)	田村	晴翔
白河第三小)	吉見	莉緒奈
白河第三小)	大木	陽葵
白河第三小)	小山田	侑恭
白河第三小)	千葉	蒼大
白河第三小)	三浦	優依
白河第五小)	渡邊	市桝
白河第五小)	中田	智喜
白河第五小)	小貫	凛桜
白河第五小)	田村	優斗
白河第五小)	服部	真依
白河第五小)	真藤	汰里
白河第五小)	中川西	奏良
白河第五小)	佐藤	凌空
白河第五小)	吉田	愛凜杏
(小田川小)	吉田	凜太郎
今井瑛	(小田川小)	(小田川小)

夏の日も白河ラーメン食べつくす
阿武隈の石までひびくセミの声
北風の勢いに負け来た風邪だ
昆虫教室外来種学び温暖化知る
たいやきのあんこのバランスふ平等
だるま市だるま買わずにすぐ帰る
いのししがランランランと並んで
泳いでる金魚ばちまで足早に
小峰城おとめ桜の秘伝説
紅葉狩り風冷えてゆく今し方
ラムネ飲み瓶からのぞく青い空
夜這い星あなたの一番願う夜
十五夜の月よりケーキの誕生日
夏祭りラムネのような涼しい恋
夏の花思い出すはどんないろいろ
雨上がり虹のかけはしけあしで
麦茶飲みノートを前に手が止まる
桜舞う古閑の道に影ひとつ
万博の暑さに挑む家族旅
海光る素足のままでかけてゆく
春風に花がほころぶ静けさよ
夏バテか不眠不休のエアコンも
春雨にゆれる南湖やよき故郷
雪の朝カーテン越しに街ねむる
卒業の涙は風に吹かれます

◎ 美勧

桜散る音も立てずに道に積もる
夕凪に二つの影が耳を貸す
緑陰でひと休みする子猫かな
自転車を押してゆく道秋日和
白河や桜に霞む闇の跡
夏休み臉を閉じたら終つてた
木漏れ日にさらりと香るレモン水
こおろぎや芭蕉も聞いた闇の夜
白河の闇祖父とこえるや夏の雲
風りんの音色かがやく良き夜明け
カタクリの白河の闇あふれけり
ダート戦ダービー馬が駆けて行く
麗人にハイビスカスが相応ふ
帰る波来る波を食う浅蜊貝
雷鳴におびえたころを懐しむ
なつきたらいろみずはかせめざすんだ
ただいまの香炉の温もり盂蘭盆会
バーベキュー肉が飛んでくる春一番
つくしたち一番目指し伸びてゆく
一年生たんぽぼみたいでかわいいな
闇の月千年前の影を踏む
炎天にすかしてみたいしやけむすび
ビーサンが一つ浜辺にさびしけり
扇風機ノートの端を揺らしてる
炎天下とけゆく体を海が抱く

(白河第二中)	町田	優空	(白河第二中)	早山	彩夢	(白河第二中)	古川	未麗	(白河第二中)	星	竜太	(白河第二中)	高橋	蓮音																					
(東北中)			(東北中)	兼子	心優	(東北中)	兼子	心優	(東北中)	片野	内漣	(東北中)	片野	内漣																					
(白河南中)			(白河南中)			(白河南中)			(白河南中)			(白河南中)			(白河南中)			(白河南中)			(白河南中)			(白河南中)			(白河南中)			(白河南中)			(白河南中)		
(福岡県・宮若東中)	小幡	大晴	(福岡県・宮若東中)	入来田	莉央	(福岡県・宮若東中)	森岡	真那斗	(福岡県・宮若東中)	堀		(福岡県・宮若東中)	嘉茂	蒼太	(福岡県・宮若東中)	佐藤	彩葉																		
(東京都・井草中)	中西	恒和	(東京都・井草中)	原廉太郎		(東京都・井草中)	松田	拓	(東京都・井草中)	渡辺琉太		(東京都・井草中)	野のはな																						
(東京都・井草中)	佐々木道郎		(東京都・井草中)	佐々木道郎		(東京都・井草中)	中西恒和		(東京都・井草中)	原廉太郎		(東京都・井草中)	松田拓		(東京都・井草中)	渡辺琉太		(東京都・井草中)	野のはな																

(東中)	坂本	陽	(東中)	坂本	陽																												
(羽太小)	伊藤	琴音	(羽太小)	伊藤	琴音																												
(群馬県・城東小)	中村	衣都	(群馬県・城東小)	中村	衣都																												
(福岡県・古賀東中)	川原	真音																															
(鹿児島・坂元中)	八木	乃咲																															
(鹿児島・坂元中)	村岡	奈佳																															
(鹿児島・坂元中)	國本	七詩																															

舌の上夏がしみる
ブールあとサイドに光る水たまり
バレンタイン黒閃光に荒い波
汗たらしのとおしこむ滝の水
タンスから景色うつらぬサングラス
くすしきと唄う鳥らよ雲の峰
水たまり残して梅雨のあけにけり
歳時記をくりながら見る夏景色
いち早くてっぺんで咲けタチアオイ
そうじ前みんなで集まり日焼け止め
水泳の授業の後の睡魔かな
給食にアスパラガスとじやがバター
歌舞伎座へ祖母の单衣を身にまとい
炎天下日陰に止めるスポーツカー
五人抜きシュートスパッと青嵐
土用波ジユースのごとく飲み込んで
一球に思いを込める玉の汗
スイカ食べいとこと九人で種飛ばし
油絵の青をのぞけば夏の海
夏の海足あとつけて走り出す
カーテンのすきまもれで花火かな
閑越えて旅の心に夏の月
鳥渡るやわらぐ風の路しるべ
虹の橋どこに架かるか探す昼
答案に書けぬ答えや秋の風